

道路事業関係

国道57号 宇土道路【直轄】

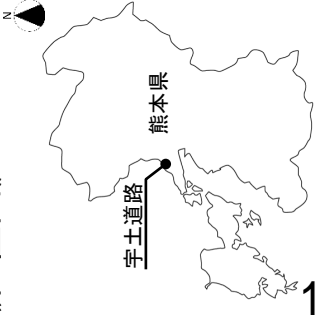
継続

道路-15

■国道57号宇土道路は、熊本県熊本市と熊本県天草市を結ぶ延長約70kmの熊本天草幹線道路の一部を構成する道路。

■宇土道路の整備により、宇土半島に存在する特殊通行規制区間に対して、災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保し、災害時のダブルネットワーク効果に期待。

《位置図》



《諸元等》

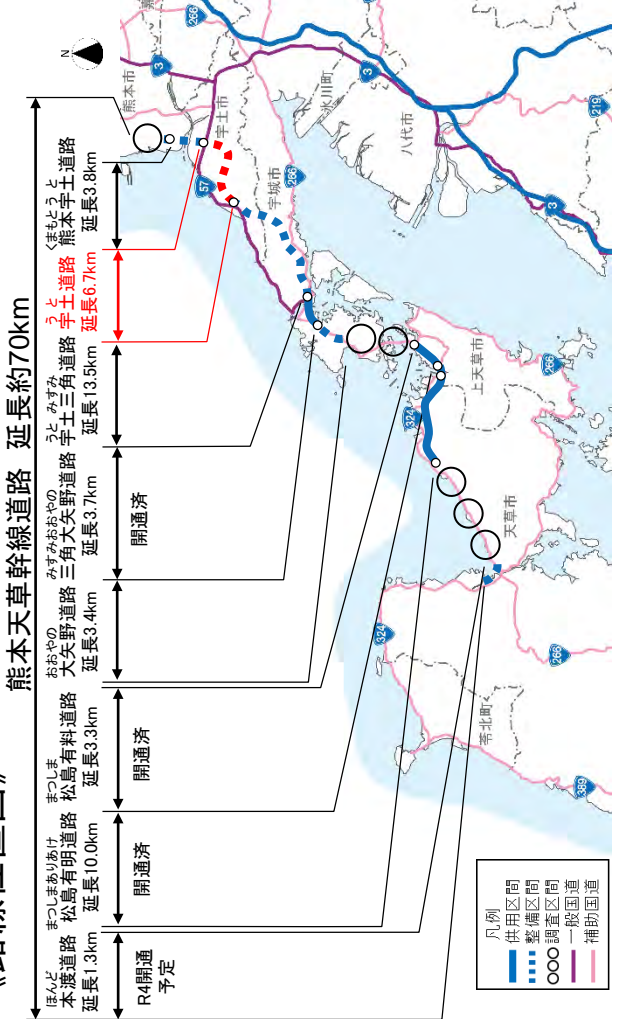
事業区間：熊本県宇土市城塚町
～宇土市上網田町

延長：6.7km

全体事業費：257億円

R3当初：21.9億円(事業費)

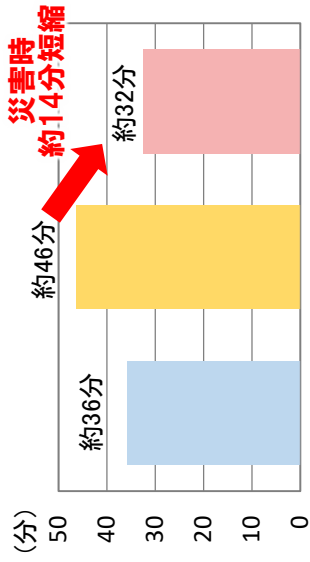
《路線位置図》



《整備効果》



■災害時の所要時間比較 (松原歩道橋交差点～五橋入口交差点)



台風18号の越波(H11)

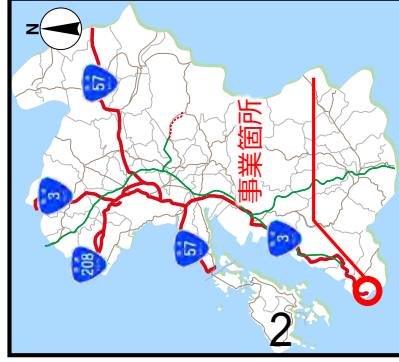
通常時(整備前) 災害時(整備前) 災害時(整備後)

資料・ETC2.0(R1.10:平日12h平均)
※宇土道路は設計速度80km/hで算出

- 幹線道路における安全・安心な道路交通環境の創出を目的に事業を推進。
- 当該箇所交通安全対策により、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保、死傷事故数の減少が期待。

○国道3号 袋歩道整備

《位置図》



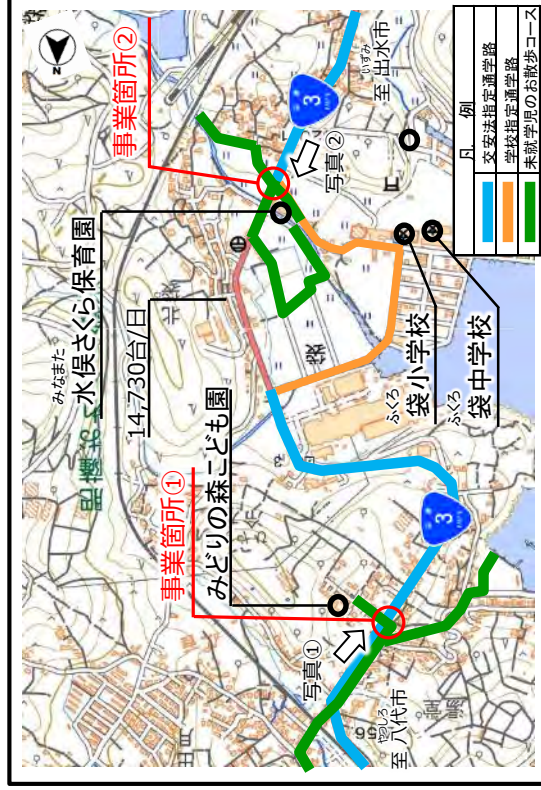
事業区間：熊本県水俣市袋
 事業量：2箇所
 R3当初：0.5億円（事業費）

《現地状況》

未就学児等が日常的に集団で移動する経路であるが、横断歩道部に歩行者の滞留場所が無く、安全確保できていない。

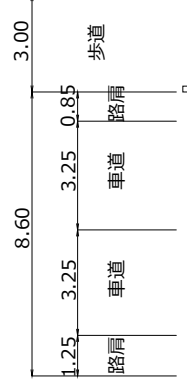


《平面図》

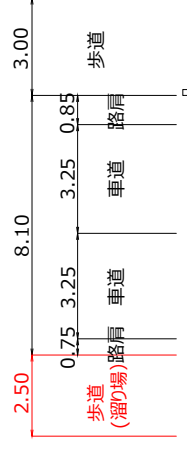


《対策イメージ》

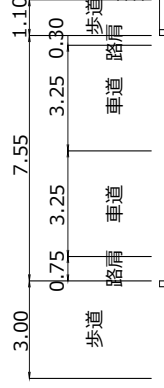
事業箇所① 【現況断面図】



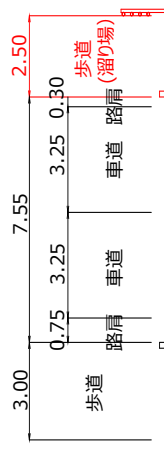
【計画断面図】



事業箇所② 【現況断面図】



【計画断面図】



国道212号 耶馬溪山国道路【補助】

新規 道路-17

- 耶馬溪山国道路は、重要港湾中津港から日田市に至る「中津日田道路」の一部を構成し、物流の効率化により、大分県北西部に集積する自動車関連産業等、地域産業の活性化や中津・日田間の広域観光の振興を支援する道路。
- 耶馬溪山国道路の整備により、自然災害に対して脆弱な国道212号の代替路（リダンダンシー）を確保するとともに、名勝耶馬溪の青の洞門、羅漢寺、深耶馬溪（一目八景）など、観光地へのアクセス向上に寄与することに期待。

《位置図》

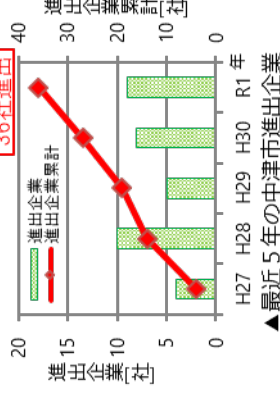
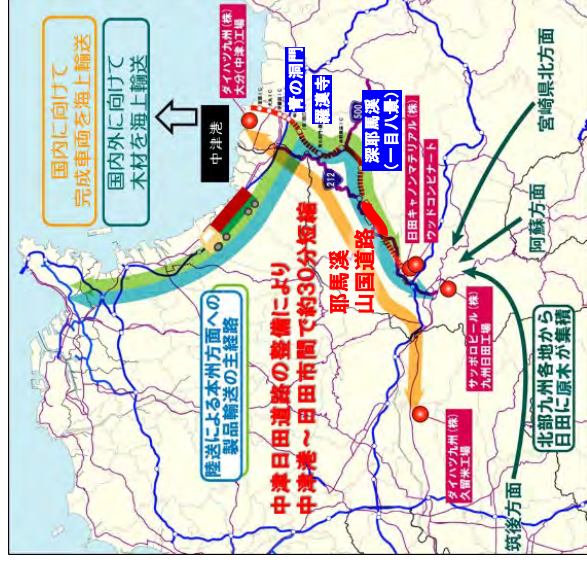


事業区間：大分県中津市耶馬溪町大島
 ~大分県中津市山国町守実
 事業主体：大分県
 延長：8.5km
 全体事業費：458億円
 R3当初：0.4億円(事業費)

《路線位置図》



《当該区間での課題と効果》



様々な物資輸送に利用される現道国道212号



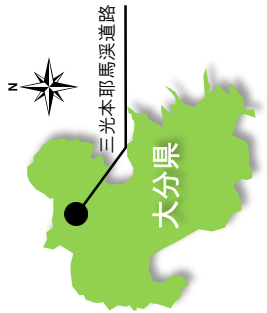
国道212号 三光本耶馬溪道路【直轄】

継続

三光本耶馬溪道路は、九州横断自動車道と東九州自動車道及び重要港湾中津港とを相互に連絡する中津日田道路の一部を構成し、物流の効率化及び広域観光の振興を支援するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路。

三光本耶馬溪道路の整備により、災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保し、災害時の代替路(リダンダンシー)の確保に期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：大分県中津市三光西林
～中津市本耶馬溪落合

延長：12.8km

全体事業費：556億円

R3当初：75.4億円(事業費)

《整備効果》

<国道212号の全面通行止め状況>

- ・H24.7：38日間(路肩崩落)
- ・H29.7：19日間

九州北部豪雨(約57日間)全面通行止めが発生

三光本耶馬溪道路、本耶馬溪耶馬溪道路の並行区間(約10日/年)の全面通行止めが発生

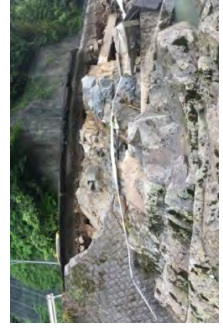
国道212号の代替路(H24.7・H29.7)「本耶馬溪耶馬溪道路」を經由

▲国道212号の通行規制状況(H21～H30)、九州北部豪雨(H24.7、H29.7)の被災状況

●：災害による全面通行止め(H21～H30)
●：防災点検要対策箇所

三光支所、上毛町、耶馬溪支所、本耶馬溪支所、田口IC、伊藤田IC、三光下林IC、中津IC、定留IC、大丸IC、三光IC、本耶馬溪IC、耶馬溪山移IC、本耶馬溪耶馬溪道路、三光本耶馬溪道路、中津IC～田口IC H31.3開通

《路線位置図》



■都城道路(Ⅱ期)・都城道路は、都城志布志道路の一部を構成し、九州縦貫自動車道宮崎線との結節による物流の効率化を図るとともに、市街地の交通混雑解消及び沿道環境改善を目的とする道路。

■九州縦貫自動車道宮崎線「都城IC」と国際バルク戦略港湾「志布志港」を結ぶ広域ネットワークを形成し所要時間が短縮することで、物流の効率化や地域経済の活性化などが期待。

《位置図》



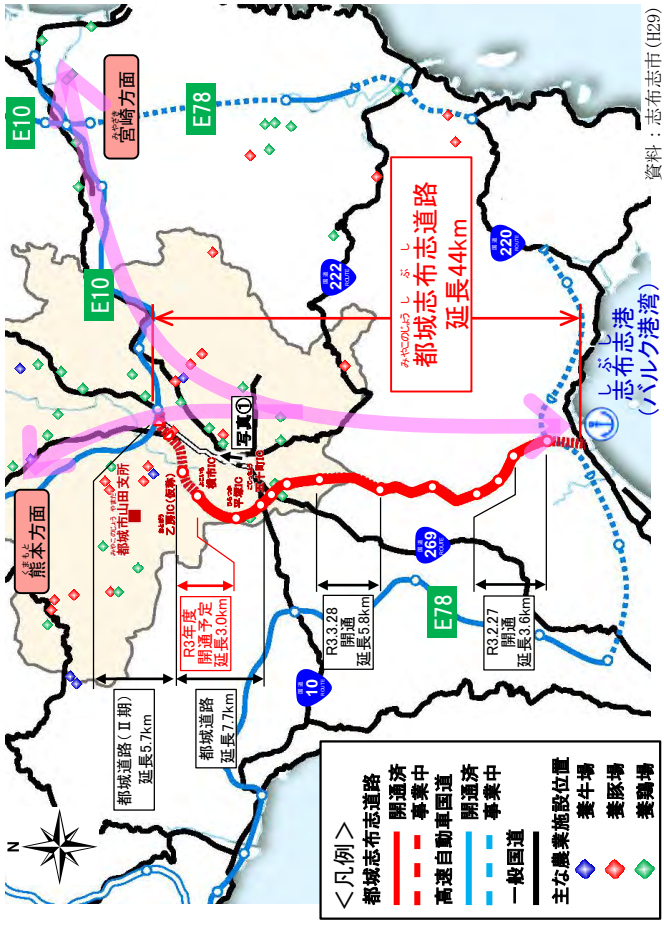
《諸元等》

【都城道路(Ⅱ期)】	【都城道路】
事業区間：宮崎県都城高木町～都城乙房町	事業区間：宮崎県都城乙房町～都城五十町
延長：5.7km	延長：7.7km
全体事業費：258億円	全体事業費：404億円
R3当初：42.9億円(事業費)	R3当初：15.6億円(事業費)

《整備効果》



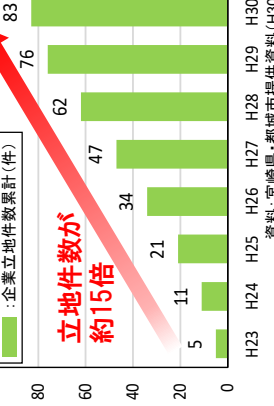
《路線位置図》



■都城IC付近の工業団地の立地状況



■都城市の企業立地件数



■畜産業出額 全国2位



■都城市山田支所間



国道218号 高千穂日之影道路【直轄】

全線開通 道路-21

高千穂日之影道路は、熊本県御船町から宮崎県延岡市に至る「九州横断自動車道延岡線」の一部を構成し、観光振興等に寄与する道路。

高千穂日之影道路を整備することにより、豊富な観光資源を有する高千穂町へのアクセス性が向上し、高千穂町の受け入れ体制を強化することで、観光客数の増加による観光振興等が期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：宮崎県西臼杵郡高千穂町
～西臼杵郡日之影町

延長：5.1km

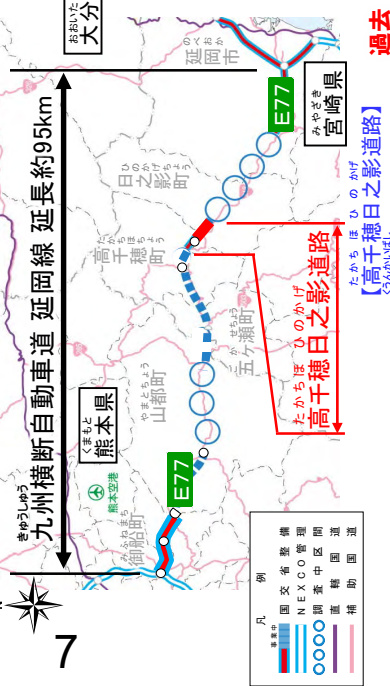
全体事業費：268億円

R3当初：5.6億円(事業費)

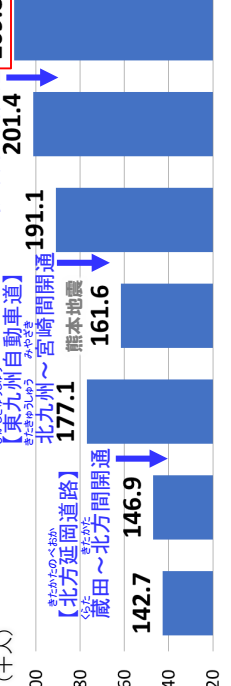
■高千穂町～延岡市間の所要時間(休日)



九州横断自動車道 延岡線 延長約95km



■高千穂町の宿泊客数



■観光客受け入れ体制を強化する高千穂町

※観光客数は、H29熊本県観光統計

■観光客受け入れ体制を強化する高千穂町

駐車場整備(天岩戸地区) 遊歩道整備事業 (三田井地区)

安全・快適な歩行空間の形成(高千穂町中心部)

2023年度完成予定 (イメージ)

事業推進中 (イメージ)

東九州自動車道 清武JCT～北郷【直轄】

■東九州自動車道 清武JCT～北郷は、九州における循環型高速道路ネットワークの一部を形成し、九州東部の広域的な連携を図り、物流の効率化及び地域の発展、災害に強いネットワークの構築等を目的とした道路。

■清武JCT～北郷の整備により、異常気象時の事前通行規制や災害時の通行止めを回避し、災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保し、災害時のダブルネットワーク効果に期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：宮崎県宮崎市清武町今泉～日南市北郷町郷之原
 延長：19.0km
 全体事業費：1,622億円
 R3当初：62.9億円 (事業費)

《整備効果》

▼国道220号の規制発生状況

規制理由	規制回数	備考
災害による通行規制 (全面通行止め)	14回	崩土崩壊、落石等
事前通行規制 (全面通行止め)	52回	連続雨量170mm以上
合計	66回	年平均 約4回/年

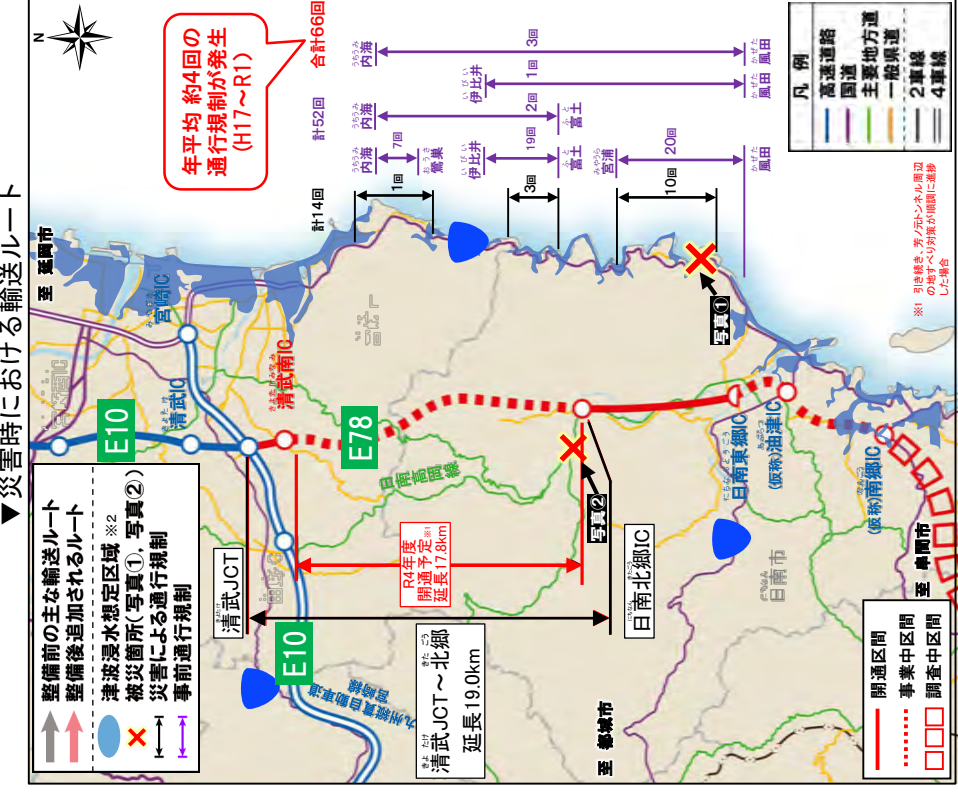
※通行規制はH7～R1の15年間の実績 (資料：宮崎河川国道事務所)

▼(主)日南高岡線の規制発生状況

規制理由	規制回数	備考
災害による通行規制 (全面通行止め)	14回	崩土、落石等

※通行規制はH7～R1年度の15年間の実績 (資料：宮崎県)

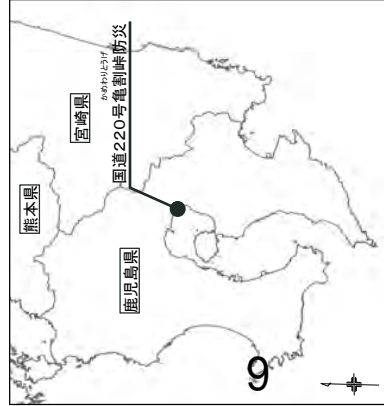
《路線位置図》



■ 国道220号亀割峠防災は、土砂災害時の通行止めによる孤立集落を回避し、日常生活や地域産業の輸送ルートとして信頼性の高いルートの確保を目的とする道路。

■ 国道220号亀割峠防災の整備により、通行止めによる孤立集落の回避や物流の回避の定時性・速達性を確保し、災害時の避難・支援物資の緊急輸送道路を確保するとともに、信頼性の高い道路ネットワークを形成。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：鹿児島県霧島市福山町福山
～鹿児島県霧島市国分敷根

延長：2.3 km

全体事業費：130億円

R3当初：1.0億円（事業費）

《当該区間の課題》



▲ 災害箇所航空写真 (H5.8)

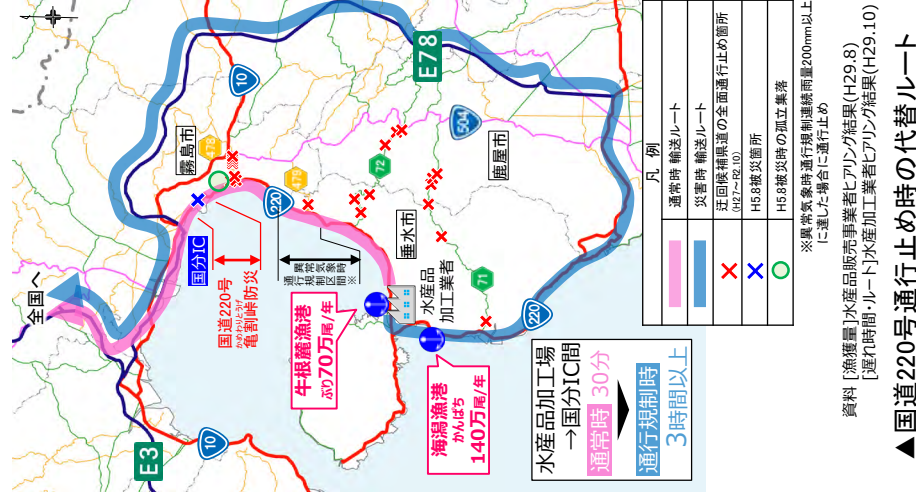


▲ 国道への土砂流入 (H5.8)

《路線位置図》



凡例	
—	国道(直轄)
---	対象区間
.....	トンネル構造



水産品加工場
→国分IC間
通常時 30分
通行規制時
3時間以上

凡例	
—	通常時輸送ルート
---	災害時輸送ルート
×	往回待機区間の全面通行止め箇所 (H27～H29)
×	H5.8被災箇所
○	H5.8被災時の孤立集落

※異常気象時通行規制連続量200mm以上に達した場合に通行止め

資料 [魚獲量]水産品販売事業者ヒアリング結果(H29.8)
[運り時間]ルート水産加工業者ヒアリング結果(H29.10)

▲ 国道220号通行止め時の代替ルート

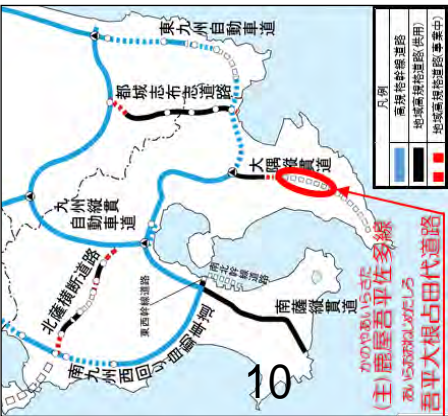
道路-24

(主)鹿屋吾平佐多線 吾平大根占田代道路【補助】

■ 吾平大根占田代道路は、東九州自動車道の鹿屋串良JCTから佐多に至る大隅縦貫道の一部を構成する区間であり、東九州自動車道や串良鹿屋道路及び国道220号等と一体となって広域道路ネットワークを形成する道路。

■ 吾平大根占田代道路の整備により、災害に強い道路網として国道269号の代替路（リダンダンシー）を確保するとともに、本県の農畜産物の一大生産地である南大隅地域から志布志港や鹿児島空港などの物流拠点とのアクセスが向上することにより、大隅地域の産業・経済の活性化を支援。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：鹿児島県鹿屋市吾平町上名
～肝属郡錦江町田代

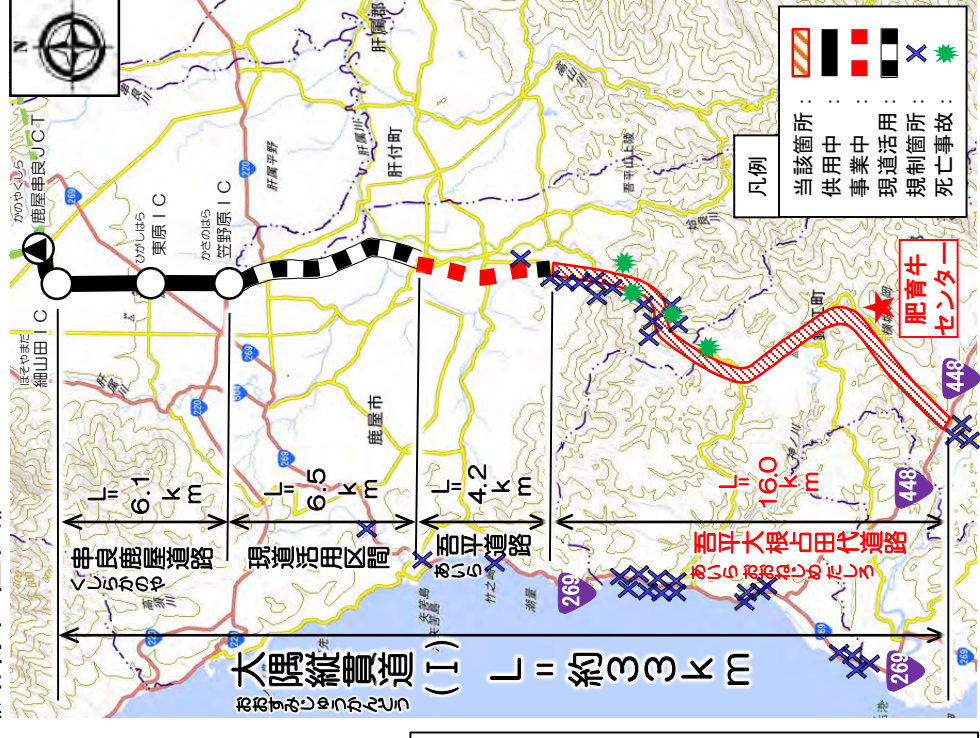
事業主体：鹿児島県

延長：16.0km

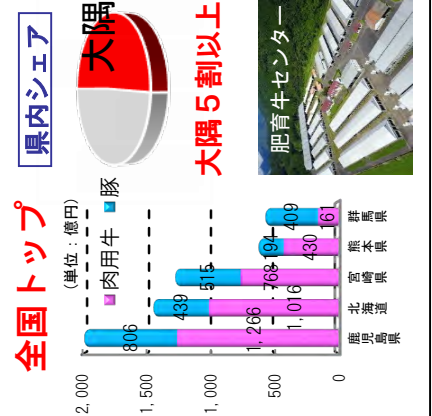
全体事業費：320億円

R3当初：0.4億円(事業費)

《路線位置図》



《当該道路の課題と効果》



《畜産物の運搬状況》



《国道269号・県道の被災状況》



国道504号 宮之城道路【補助】

新規 道路-25

宮之城道路は、鹿児島空港からさつま町を経由し出水地域に至る、延長約65kmの北薩横断道路の中央部にあり、九州縦貫自動車道など一体となって広域道路ネットワークを形成する道路。

宮之城道路の整備により、広域道路ネットワークのミッシングリンクを解消し、安定した物流経路が確保されることにより、農畜産物・水産物や工業製品等の飛躍的な販路拡大に寄与し、北薩地域の産業・経済の活性化を支援。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：鹿児島県薩摩郡さつま町広瀬 ～ 薩摩郡さつま町泊野

事業主体：鹿児島県

延長：10.0km

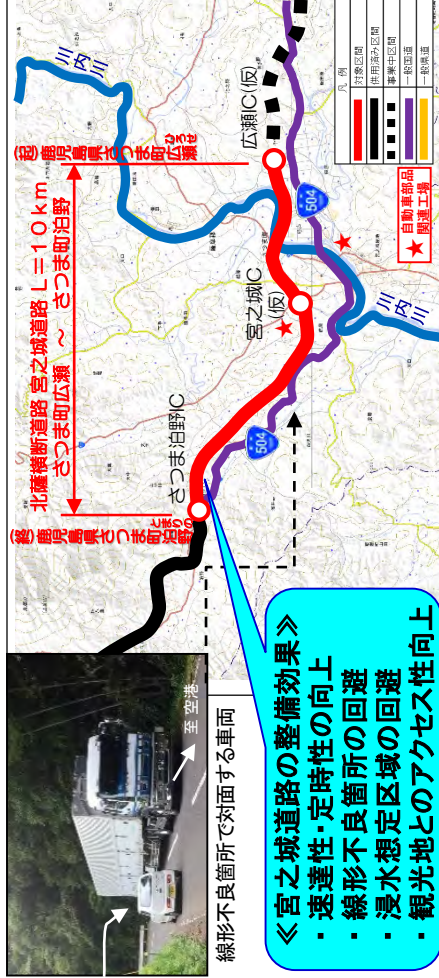
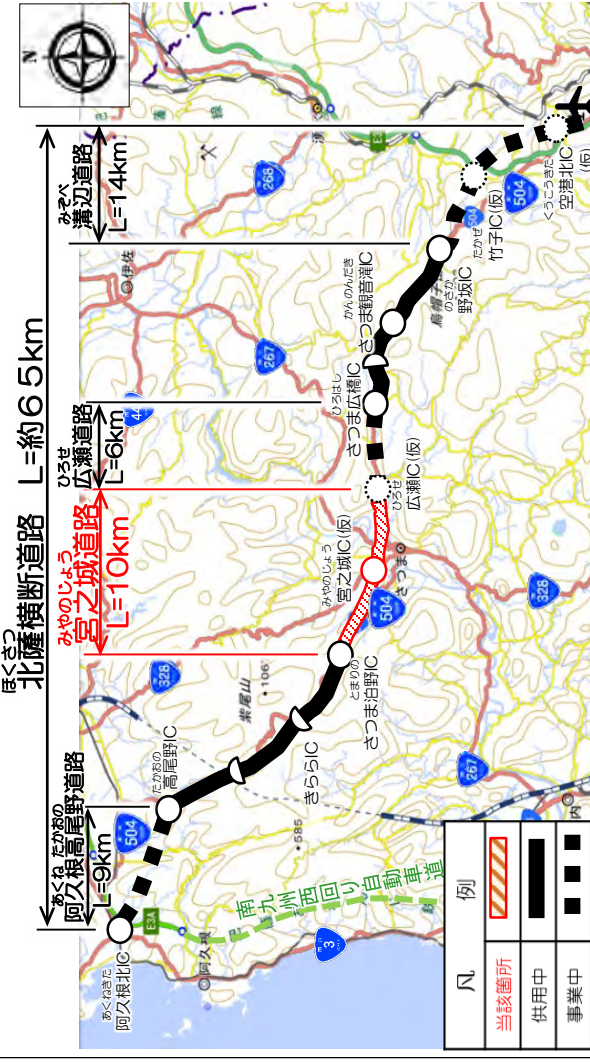
全体事業費：250億円（事業費）

R3当初：0.4億円（事業費）

《当該道路の課題と効果》



《路線位置図》



東九州自動車道志布志～末吉財部【直轄】

■東九州自動車道志布志～末吉財部は、九州の高速道路ネットワークの一部を形成することにより、大隅地域へのアクセス強化や、物流の効率化による地域産業活性化等に寄与する道路。

■志布志～末吉財部の整備により、「国際バルク戦略港湾「志布志港」と鹿児島県内及び九州各地を結ぶ広域ネットワークが形成され、物流の効率化や地域経済の活性化及び災害時のダブルネットワーク効果に期待。

《位置図》



《諸元等》

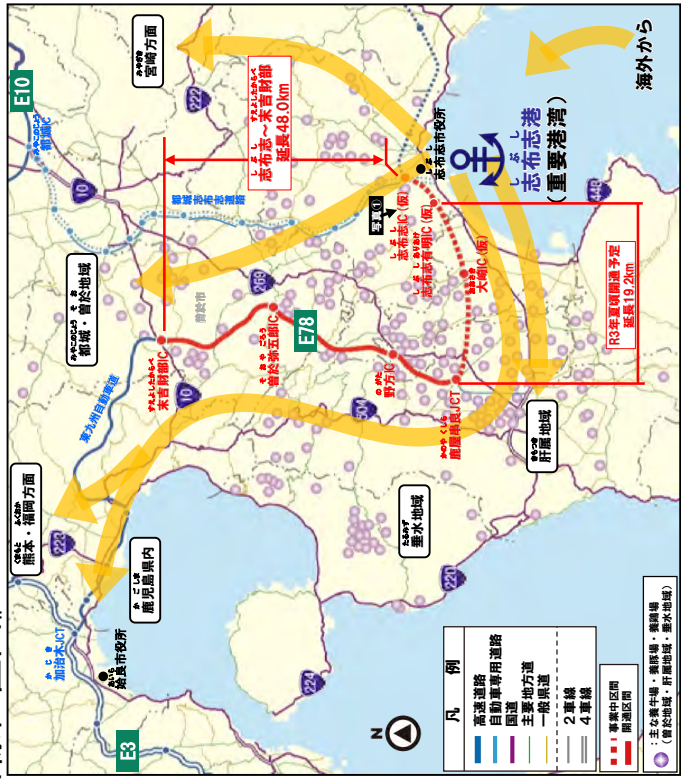
事業区間：鹿児島県志布志市志布志町志布志
～曾於郡末吉町深川

延長：48.0km

全体事業費：1,688億円

R3当初：16.7億円(事業費)

《路線位置図》



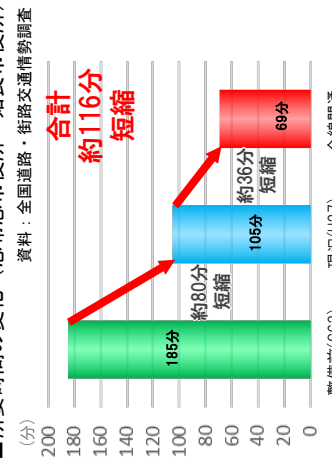
■東九州自動車道・志布志港の状況



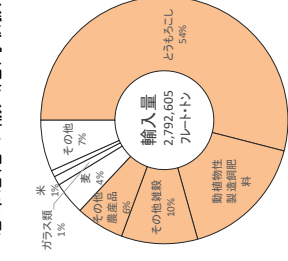
《整備効果》



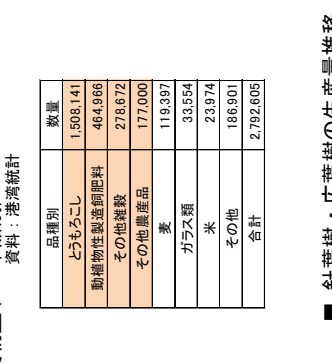
■所要時間の変化(志布志市役所～始良市役所)



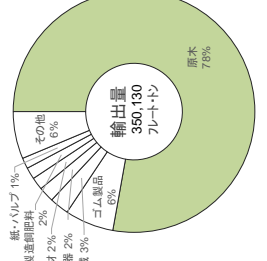
■志布志港の輸入港取貨物量(H30年品別)



■針葉樹・広葉樹の生産量推移



■志布志港の輸出港取貨物量(H30年品別)



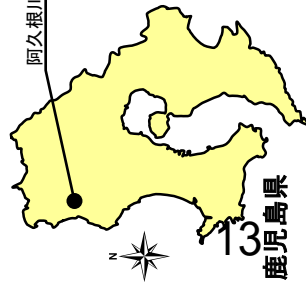
国道3号 阿久根川内道路【直轄】

継続

道路-27

- 阿久根川内道路は、南九州西回り自動車道の一部を構成し、九州南西部の地域経済の活性化及び高速定時制性の確保を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するとともに、阿久根市から鹿児島市へのアクセス性の向上及び円滑な車両走行が確保されることで、物流の効率化や地域経済の活性化及び災害時のダブルネットワーク効果に期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：鹿児島県阿久根市鶴川内
～薩摩川内市水引町

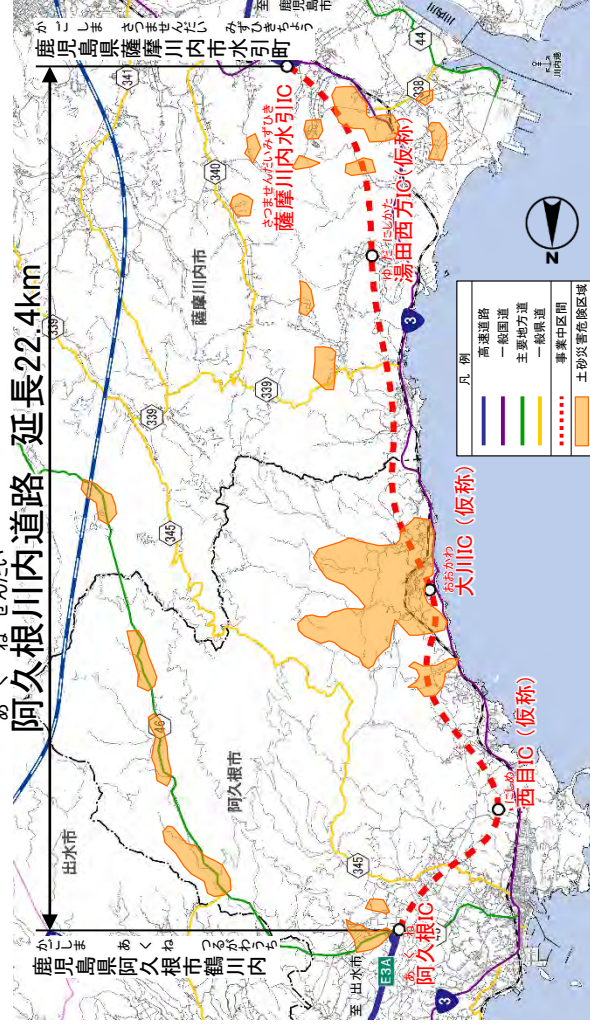
長：22.4 km
 全体事業費：1,050億円
 R3当初：23.5億円（事業費）

《整備効果》

■災害時の避難路、緊急輸送道路を確保



《路線位置図》



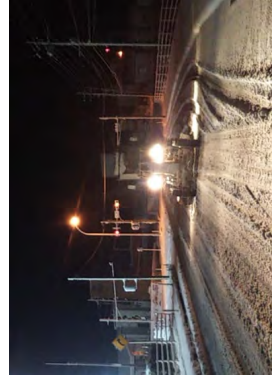
▼平行する国道3号の被災状況



写真②：大雨による冠水状況 (H23.6)



写真③：大雪による除雪状況 (R3.1)



災害時の避難ルート

凡例

- 津波浸水想定箇所周圍箇所
- 防災点検要対策箇所 (10年間)
- 通行規制実績 (17年～平成26年)
- ※平成17年～平成26年

写真撮影箇所及び撮影方向

①

市道 隈之城・高城線 修繕代行 天大橋【直轄】

継続

道路-28

○天大橋（市道 隈之城・高城線）は薩摩川内市内の南北を結ぶ重要な路線である。
 ○直轄診断の結果、高度な技術力を要する修繕が必要なことから、薩摩川内市からの要請に基づき、国が修繕代行により橋梁補修を実施。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：鹿児島県薩摩川内市平佐町～鹿児島県薩摩川内市東小路町
 橋長：518m（修繕代行329m）
 全体事業費：15億円
 R3当初：4.4億円（事業費）

《全景》



《損傷状況》

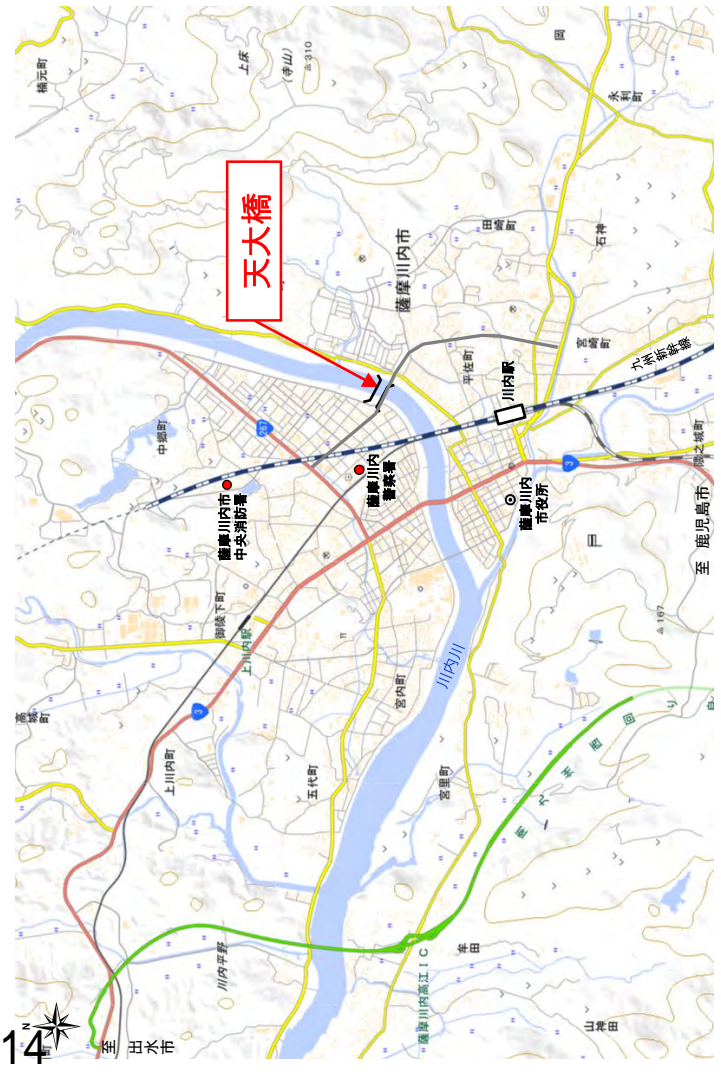


床版下面（中空床板橋）のひびわれ



ヒンジ部（箱桁橋）の垂れさがり

《路線位置図》



しものせき きたきゆうしゆう

しものせき

またきゆうしゆう

■ 下関北九州道路は、下関市、北九州市の都心部を結び、循環型ネットワーク形成により、くらし、産業・物流、観光、渋滞緩和など地域の一体的発展に寄与するとともに、本州と九州の広域的な人流・物流及び経済活動の活性化を支える大動脈、災害時の代替路としての機能・役割を担う道路。

■ 令和3年度より、山口県及び福岡県等の関係自治体と協力しつつ、都市計画・環境アセスメントを進めるための調査に着手。

《位置図》

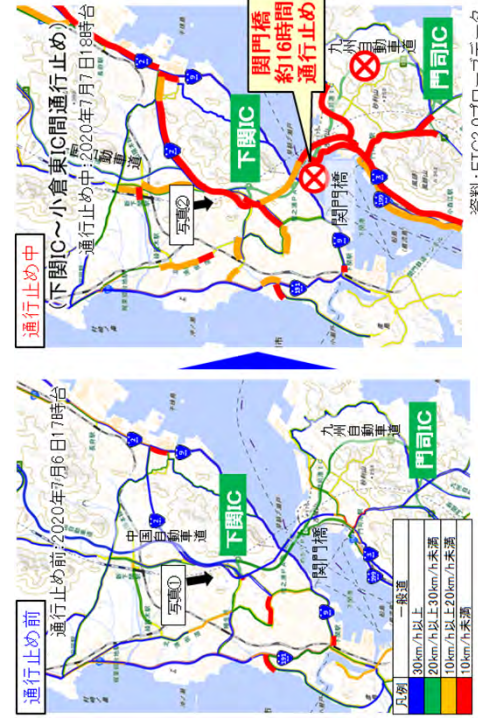


※海峡部の構造形式は、橋梁

《当該地域の課題》

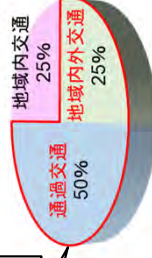
- 令和2年7月豪雨時では関門橋が通行止めとなり、関門トンネルに交通が集中し、周辺部が渋滞。
- 関門トンネル・関門橋を利用する交通需要の約8割が広域交通（地域内外・通過交通）であり、通行止めにより約7万台/日に影響する可能性があり、地域のみならず広域交通にとっても課題。

○ 令和2年7月の豪雨時の影響



- 通行止めによる本州-九州間の広域物流への影響
- 関門トンネル・関門橋を利用する交通需要

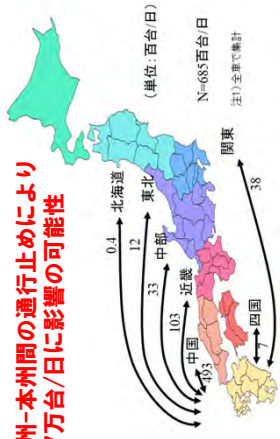
関門トンネル・関門橋
を利用する交通需要の
約8割が広域交通



注1) 全車で集計
注2) 北九州市・下関市を地域内として集計
資料：全国道路・街路交通情勢調査
自動車起終点調査(H27)

○ 通行止めの影響が全国に影響

九州-本州間の通行止めにより
約7万台/日に影響の可能性



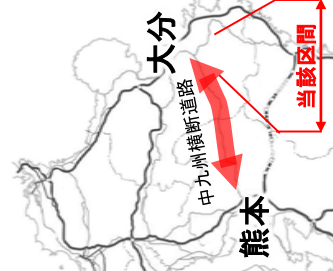
資料：全国道路・街路交通情勢調査
自動車起終点調査(H27)

中九州横断道路(大分～犬飼)

新規 道路-30

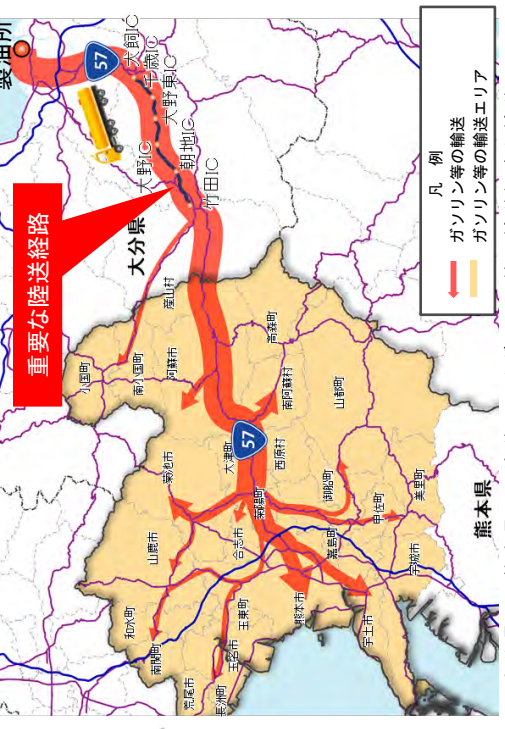
- **中九州横断道路(大分～犬飼)**は、大分県大分市と熊本県熊本市を結ぶ延長約120kmの中九州横断道路の一部区間として計画され、大分地域と熊本地域とを相互に連絡し、広域的なネットワークを形成する目的として検討を進めていく道路。
- 両地域の連絡性が高まることで、物流の効率化、災害に強いネットワークが形成される事に期待。
- 令和3年度より、概略ルート・構造等の検討(計画段階評価)に着手。

《位置図》



《地域の現状》

大分臨海部には、九州唯一の製油所があり、熊本県へは主に国道57号を利用して陸送されている。



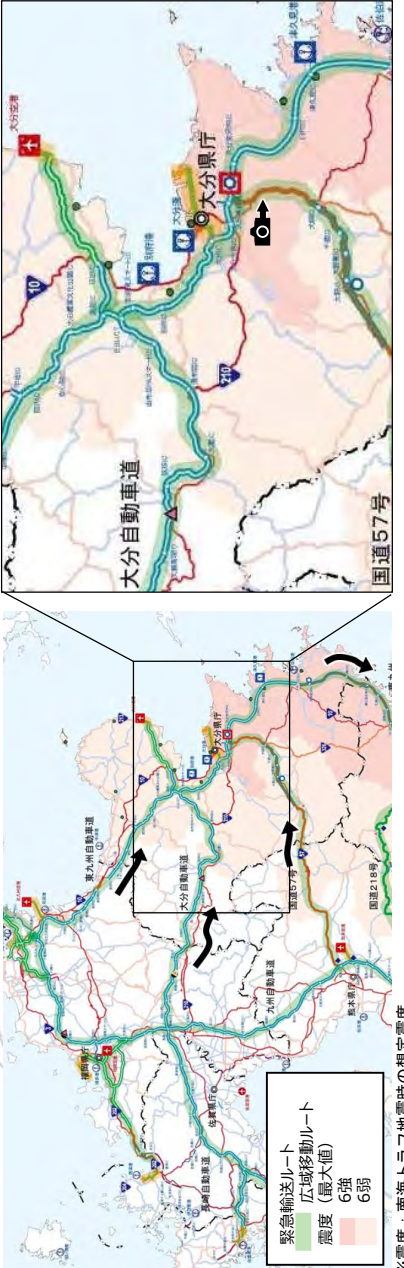
▲ 大分県から熊本県への陸送によるガソリン等の輸送経路と輸送エリア

《位置図》

熊本県には世界トップシェアの半導体関連の生産拠点があり、大分市に集積する部品メーカーから部品を供給している

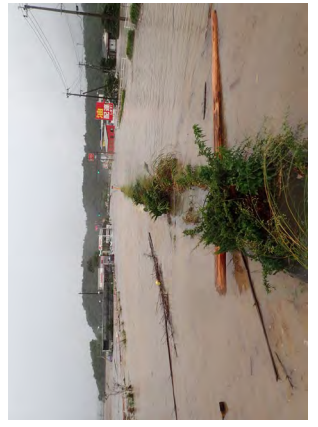


▲ 半導体製造装置関連部品の輸送ルート



※震度：南海トラフ地震時の想定震度

▲ 南海トラフ地震発生時ににおける道路啓開計画「九州東進作戦」



▲被災状況写真 (H29. 9)

・発災後、早期に啓開し、通行確保を行う必要がある「緊急輸送ルート(広域移動ルート)」に設定されている国道57号においては、路面冠水等による通行止めが発生している。

※九州地方において震度6強以上の震度が観測された場合、又は大津波警報が発せられた場合